

レモンケーキの独特なさびしさ



[レモンケーキの独特なさびしさ_ダウンロード1](#)

著者:Aimee Bender

出版者:KADOKAWA/角川書店

出版时间:2016-5-28

装帧:

isbn:9784041104859

「種明かしをするわけにはいかないので、ここではただ、この本を書いているあいだ、感じやすい(sensitiveである)とはどういうことかについてたくさん考えていた、とだけいっておきましょう」——エイミー・ベンダー

9歳の誕生日、母がはりきって作ってくれたレモンケーキを一切れ食べた瞬間、ローズは説明のつかない奇妙な味を感じた。不在、飢え、渦、空しさ。それは認めたくない母の感情、母の内側にあるもの。

以来、食べるとそれを作った人の感情がたちまち分かる能力を得たローズ。魔法のような、けれど恐ろしくもあるその才能を誰にも言うことなく——中学生の兄ジョゼフとそのただ一人の友人、ジョージを除いて——ローズは成長してゆく。母の秘密に気づき、父の無関心さを知り、兄が世界から遠ざかってゆくような危うさを感じながら。

やがて兄の失踪をきっかけに、ローズは自分の忌々しい才能の秘密を知ることになる。家族を結び付ける、予想外の、世界が揺らいでしまうような秘密を。

生のひりつくような痛みと美しさを描く、愛と喪失と希望の物語。

作者紹介:

●エイミー・ベンダー:1969年生まれ。カリフォルニア大学出身。小学校教諭をつとめた後、最初の短篇集『燃えるスカートの少女』(角川文庫)で鮮烈なデビューを果たす。2010年に刊行した長篇第二作目となる本作は全米ベストセラー入りを果たし、新たな代表作に。邦訳に長篇『私自身の見えない徴』、短篇集『わがままなやつら』がある。2013年には三作目の短篇集『The Color Master』を刊行。南カリフォルニア大学で教えながら精力的に執筆活動が続けている。ロス・アンジェルズ在住。

●管啓次郎:1958年生まれ。比較文学者、詩人。明治大学理工学部教授。エイミー・ベンダー作品の翻訳の他、『星の王子さま』(角川文庫、角川つばさ文庫)、アジェンデ『パウラ、水泡なすもろき命』、コンデ『生命の樹』、ル・クレジオ『ラガー—見えない大陸への接近』など訳書多数。著書『斜線の旅』で読売文学賞を受賞。他に『本は読めないものだから心配するな』、『ハワイ、蘭嶼』、詩集『時制論』などがある。

目録:

[レモンケーキの独特なさびしさ 下载链接1](#)

标签

加藤シゲアキ

Shige读过的

评论

[レモンケーキの独特なさびしさ 下载链接1](#)

书评

[レモンケーキの独特なさびしさ 下载链接1](#)